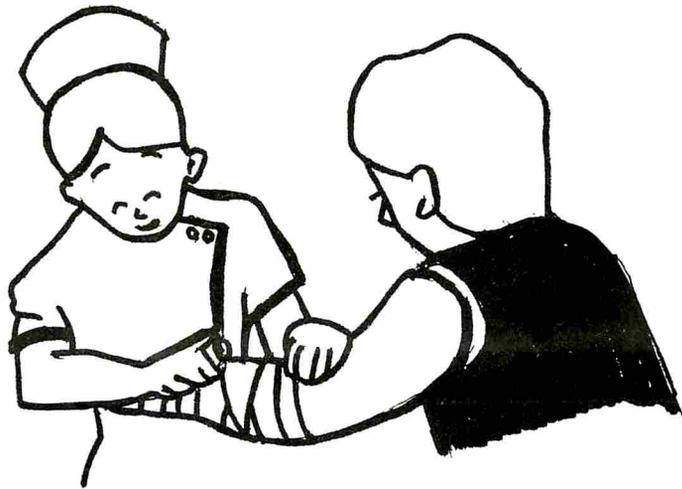


第 7 号

1987.HOYU

# 朋友



12期生 松崎美香

佼成看護専門学校同窓会

# 三代目総婦長として

## 島みどり



金木精のかおりが漂うさわやかな季節となりました。同窓生の皆様にはお元気で活躍のことと存じます。昭和四八年二科二期生として卒業し、佼成病院に在職し十数年を経ることになります。日々あの頃と同じ実習服を身につけた後輩の学生さん達を目のあたりにしています。自分の学生時代が、まだそんなに遠い日であったと思えないでいる現在です。本年三月島田利子総婦長様が停年退職されましたあと私のような若輩者が、三代目総婦長としての大役を拝命することになりました。佼成病院の創設期より尽力され看護部の礎を築かれた鈴木イチ一代目総婦長様、その基礎のもと、看護と教育を充実させると同時に、やさしい笑顔と、信仰心に裏打ちされた暖い思いやりにあふれた島田利子二代目総

婦長様により佼成病院看護部のよき伝統が、培かれて参りました。

立派な先輩の足跡を傷つけることなく、又より向上させていくためには、どうあるべきか、まだまだ、何も解らず緊張の毎日ですが、幸い佼成病院看護部の多くは、同窓生であり、婦長、主任として活躍している同窓生も多く心強い限りです。

佼成病院も本年創立三五周年を迎えました。佼成看護専門学校も来年は二十周年、各地で活躍されている同窓生の報に接します時、学校の歴史を感じると同時に、御指導下さいました小野田初代校長先生始め、諸先生に対する感謝の気持ちでいっぱいです。

佼成看護専門学校の実習病院である、佼成病院にいる者として、多くの同窓生に囲まれ井の中の蛙にならぬよう、見聞を広める必要を感じております。

どうか同窓生の皆様には、今後共御指導御助言下さいますようお願いしあげ、ごあいさつとさせていただきます。

# 新任教師として

## 瀬谷 早苗



卒業して早いもので、十年目を迎えようとしている現在、四月からここ佼成看護専門学校で、学生時代お世話になった先生方と一緒に、机を並べてお仕事をさせていただいております。九時から十七時迄の勤務時間にもかかわらず、定刻に帰宅できず、右往左往しながらあわただしい毎日を送っている次第です。人前で話をするのが、大のりがてな私にとって、授業のある日は苦勞、苦勞の物語……。

教える立場になって始めて、教える迄の準備の大変さ、教えることの難しさを身にしている今、私の学生だった頃を想い出しては居眠りの多かった午後の授業に、教えて下さった先生方に対して、懺悔の気持ちで一杯です。能力がだめなら、「体力で！」と頑張っている未熟な私ですが、今後ともよろしく御指導のほど、お願い致します。

# 卒業近況報告



Ⅱ科4期生

## 島田久美子

皆様、お元気ですか。卒業してから十二年もの月日が流れたとは、うそのような気がします。学生時代は、勉強と仕事、そして遊びにと、充実した日々を過ごしていたことを思い出します。特に看護研修旅行で、タイの病院やシンガポールのナースと交流できたことや、車の運転免許証をとったり、卒論で何度も書き直したことなど思い出します。卒業後は、大阪府立病院に就職し、ICUと精神科病棟に勤務し、その後大阪府医師会看護専門学校に勤務し、その後大阪府医師会看護専門学校に勤務し、その後大阪府医師会看護専門学校に勤務してまいりました。現在は、ぶどうと、みかん山に囲まれたのどかな町で、五歳の子を頭に、男の子ばかりの三人の母親として、育児に専念しております。今年の十二月には、もう一人増える予定です。子供に手がかからなくなったら、看護職に復帰したいと思っております。皆様の御活躍をお祈り致します。

## 楽しかったクラス会

### Ⅱ科5期生 重松 久子

皆さんお元気ですか。

深緑の五月三十日、三十一日（一泊二日）に箱根でクラス会を行いました。住所不明で連絡が届かなかった方には謝ります。一人でも多くの方の参加を期待したのですが、それぞれに現場で活躍、あるいは主婦業で子育て真っ最中とかで都合がつかず、出席者は大人七名、子供八名のこじんまりとした家庭的なクラス会となりました。遠くに富士山を見る事のできる場所に住んでいるながら箱根は遠い存在。あわててガイドブックをめくり子連れで楽しめる所を探す。

さて、当日は快晴なり。何年振りかで会う同期生に思いをはせる。一番乗りは既に温泉につかりお肌すべすべ、六時頃には全員がそろい再会を喜び合う。子供たちは、すぐ仲良くなり合宿気分分で枕投げ、ゲーム等を行い、にぎやかに駆けまわる。卒業後十一年も経つのに浴場で、食堂で懐かしい顔や声に出くわすと何だか新鮮な気分になる。学院生活の頃を思い出させる深夜一時半、眠りにつくまで語り

合い、肩コリを軽くするヨガまで教わった。翌朝のごはんがおいしい。涼風に誘われて大涌谷へと向かう。ロープウェイから見える景色は圧巻だった。子供たちの歓声、額の汗を拭きながら食べた黒玉子、この玉子一個食べれば寿命が七年延びると記されていた。お土産にも買ったし、私の家族に長寿が保障された事になるらしい。限られた時間の中で楽しいひとときを過ごす事ができ本当によかった。皆さんの協力により幹事は江田さんにバトンタッチしました。

次回のクラス会には、もっとたくさんの方に会いたいなあ。会いましょう。



# 懐しのあの先生はどうしている

思い出

## 首尾木倭子



懐かしい創立当時の旧校舎での二年足らずの思い出も、間もなく二十年目が近づいてこようとしています。遠い昔のことになりつつあります。教室実習、クラスミーティング、教育キャンプ、前夜祭のスタンツ、団参会館での寮生活、新しい建物で始まる学寮生活についての準備等々、そして新しい学院への引越し、思い起こして見ますと、あの頃の一こま一こまが鮮明に浮び、昨日のことのようにも思えてきます。今では卒業生の皆様も大勢となられ、看護界各方面でご活躍され感無量です。私の在職期間は三年と非常に短い間で、しかも当時本当に未熟な私でしたが、学院長先生をはじめ周りの方々に助けられ現在に至

る迄で、最も充実して一生懸命になれた時であった様に思っています。何度も壁につき当りましたが、その時私自身の母校の恵まれた環境で受けた教育と臨床看護の経験は、ともすれば落ち込んで小さくなる私に、自信の芽を与えてくれました。教育の影響は実に大きいものです。

現在の私は職場の健康管理の仕事に携わっています。これ迄と別世界の中でまた異った学びの日々を送っています。何度も看護職を辞めたいと考えることがありました。でも何故か看護の魅力に取りつかれ、今に至っています。これからも専門職としての研鑽に励み自分自身をより大きくふくらませ、幅広い人間性の探求に終始したいと思えます。

卒業生の皆様も、母校の発展と、看護職の未来のために、同じ庭に美しく咲き続ける花がより美しく咲きたるよう祈り、ご活躍を期待致しております。



## 二十周年を前にして

I科2期生

## 中村 桂子



創立二十周年を前にして、心よりお祝い申しあげます。看護婦として、福祉の仕事をしてみたい、と決意したこと、合格通知を受けとり眠れない程嬉しかったこと、旧校舎プレハブで騒音に悩まされた授業、団参会館での集団生活、非常灯の明りで勉強したこと、戴帽式を向え実習服を身につけたことを思い出し、もう二十年を迎えるのかと歴史の重みを実感しています。卒業後は、佼成病院に就職し、昭和五二年に母校にもどり、後輩の指導をさせて頂きました。在職中に十年史が作成され、看護学校の設立、十年の歩みに巡りあい、先生方のご苦勞、努力をくみ取ることでできました。郷里の新潟に帰り六年になります。退職時、小野田先生にお願いして書いて頂いた茶軸です。時あるごとに、床の間に目をむけると、懐しさが思い出され、佼成看護専門学校で学んだ卒業生であることを、誇りに思っています。

増々発展されます様お祈りします。

# 16期生の紹介



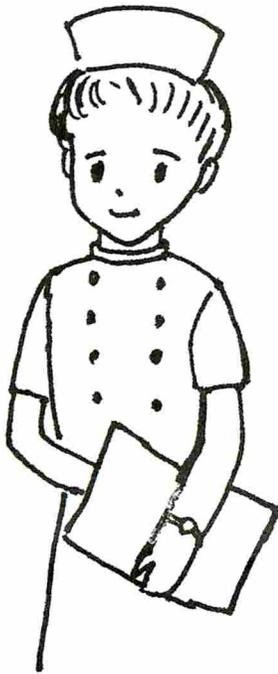
この度、私達16期生は、全員無事に同窓会員になることができました。

私達は、在学中から何かと話題の多い学年でした。各々の個性はかなり強く、まとまりがないのでは？と心配されがちでした。しかし、いざとなると驚くほどの盛り上がりを持つ学年でした。

これからも今迄の授業、実習を通し学んだ看護を忘れず、精一杯努力してゆきたいと思えます。どうぞよろしくお願いします。

16期生 大島 由里

染谷 悦子



# 第16回 記念歌

作詞 矢口 由美子  
作曲 野口 純子

一、若き乙女の瞳かがやき  
看とりの道を一歩ずつ  
共に語りし刻みゆく  
ああ心ひとつに  
守ってゆこう  
この学舎に集まりて

二、若き命の炎燃えて  
病める命にかがり火を  
共にみつめしこの道を  
ああ心ひとつに  
歩んでゆこう  
この学舎に集まりて

昭和61年度

## ■同窓会活動報告

- 4月 18期生入学式 会長祝詞 花束贈呈  
同窓会説明 十期生役員
- 5月 定例役員会(今年度計画等話し合い)
- 10月 定例役員会(朋友第六号発行等)
- 11月 戴帽式 十期生祝詞 花束贈呈
- 3月 16期生卒業 十期生祝詞 花束贈呈

## お知らせ

一、昭和60年度に行った総会で決議された事を皆様にお伝えする機会がありませんでしたので、この場を借りまして報告させていただきます。

会則変更  
。第三条 事務所については、最後の十二条と変更する。(そのため各項がずれる)  
。第五条 本会につきの役員をおく。について、会計監査委員 二名を追加する。  
。第六条 役員の任務として、会計監査は、本会計監査の任をつかさどるを加える。

。第七条 役員の任期について。クラス役員  
の選任は、各クラスの選挙による。任期は  
各クラス同窓会役員に一任する。

。第八条 役員会について。定例役員会は、  
五月第二土曜日、及び十月下旬の土曜日、  
十四時より開催することとする。

二、来年二十周年を迎えるにあたり、同総会  
でも記念に何かを……という意見がありま  
す。役員会で話し合いを行っていますので  
アイデアなどありましたら事務局まで連  
絡ください。

三、同窓生の活躍を皆様に知っていただきた  
いと思えますので本等出版した場合、PR  
致しますので連絡下さい。

## 募集

★同窓会の名称を募集しています。  
わかりやすく親しみのもてる名称にしたい  
と思えますので、アイデアを送って下さ  
い。

## ■学校事務局より

証明書が必要なときは、証明交付申請書  
(用紙は事務室に備付)を提出していただく  
ことになっていますが、遠隔地からの申込み  
の場合は、返信用封筒に切手の貼付、住所、  
氏名、郵便番号を記入同封し、必要事項を手  
紙に書いてお申し込みください。なお成績証  
明書については、提出先へ直送することにな  
っておりますので、提出先の所在地、名称を  
記載の上、書留送料四一〇円を(切手でも可)  
添えてお申し込みください。

手数料はつぎの通りです。

卒業証明書 一通につき 二〇〇円

成績証明書 一通につき 五〇〇円

送り先 〒166東京都杉並区和田一ノ三ノ十四

校成看護専門学校事務係

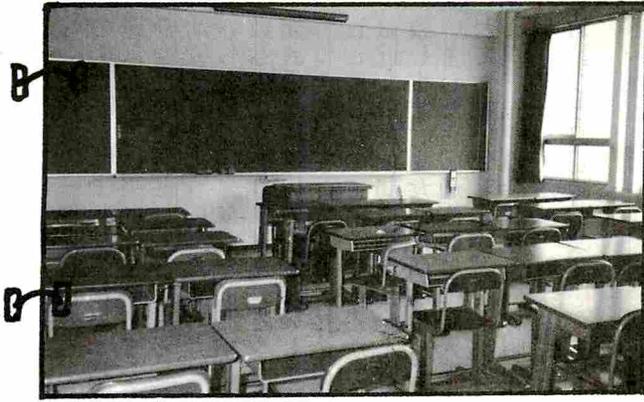
電話(03)三八四一六一六一

尚、住所変更、改姓された方は、必ず連絡  
ください。郵便でも電話でも結構です。

郵便物が時々届き、転送するのに困っており  
ます。

二十周年を前にして⑤  
八重桜

来年で我看護学校も二十周年を迎えることになりました。そこで、学校の中をカメラにおさめてみましたのでごらん下さい。



教室



図書室



食堂



ラウンジに置かれた電話ボックス



ラウンジ

# 同窓会会計報告

会費納入（郵便振替口座）も皆様の御協力の御陰をもちまして、だいぶ増え、同窓会の運営も軌道に乗ってまいりました。これで、やっと同窓会として一人立ちし、足並揃えて活動できるようになりました。

しかし、残念なことに滞納されている方も少なくありません。どうか今後の本会の発展の為に御協力をお願いします。

つきましては今回も「払込通知票」を同封致しましたので、そこに書かれてある金額をお近くの郵便局に御支払い下さる様、お願い致します。また、住所変更・改姓などがございましたら、通信欄に御記入下さるよう、重ねてお願い致します。

尚、先回の会計報告で昭和60年度の期日が S.O.A. / S.I.S. の誤まりでしたので、お詫びと訂正致します。

## 昭和61年度決算収支報告 (S61.4~S62.3)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,295,161	経費	317,885
同窓会費	490,630	通信費	19,955
16期生	81,000	印刷代	52,000
O B	409,630	慶弔見舞金	16,000
預金利息	2,708	委員金運営費	4,700
		御礼、御歳暮	5,000
		雑費(消耗品費)	710
		ワープロ	219,520
		次期繰越金	1,470,614
		現金	128,750
		銀行	588,884
		郵便局	752,980
合計	1,788,499	合計	1,788,499

# 役員名簿

- 会長 (I-1) 浜田みどり(山下)
- 副会長 (I-1) 鳥海優子(小野)
- 書記 (I-8) 斉藤悦子(小長谷)
- 会 計 (I-14) 牧野学美
- (I-2) 荻原実千代(川上)
- (I-4) 遠藤裕子(南野)
- 会計監査 (II-1) 菱沼義恵
- (I-5) 向井佳澄(島野)
- クラス役員

I 科	氏名(旧姓)
1 期生	細谷恵美子(神田) 今西潤子(日浦)
2 期生	篠原夏子(小沢) 荻原実千代(川上)
3 期生	鶴園真理子 斉藤陽子
4 期生	遠藤裕子(南野) 塚田陽子(須藤)
5 期生	鳥光令子(荒川) 有路江津子(庭野)
6 期生	山田郁代(松岡) 関昌子
7 期生	小島啓子(広門三千代)高倉
8 期生	斉藤悦子(小長谷) 苜葉隆世
9 期生	大竹葉子 湯木宏千代
10 期生	久保喜代美(一九) 杉山恵美子(吉村)
11 期生	石井真由美 堀越佳子
12 期生	金子みどり 三浦清美
13 期生	伊畚久子 飯山圭子(浜野)
14 期生	牧野学美 中村まゆみ
15 期生	河合貴美代 近藤貴美
16 期生	染谷悦子 大島由里
II 科	氏名(旧姓)
1 期生	小見道子(近藤) 中山絹枝(山本)
2 期生	矢部美智子 島みどり(刈田)
3 期生	香水好江 大塚早智子(遠藤)
4 期生	村田みち子(柳沼) 鈴木加代子(西川)
5 期生	川澄弘子
6 期生	稲垣由美子(鷲尾) 長壁きみえ
7 期生	大石恵美 大矢和子
8 期生	朝妻晴美 山口悦子
9 期生	井上幸江 大森ケイ子
10 期生	相田千秋 新井里枝子

※クラス役員はクラス毎に決めて報告してもらっています。

# 編集後記

卒業して早五年目、校成病院に勤めながら毎日帰り道看護学校の前を通りながらも、門をくぐったのが五年ぶりとは……。久しぶりに同期の友人と二人、学校へ行き、とてもなつかしく廊下の卒業写真を見ては、まるでタイムマシンにでも乗ったかの様に昔のことを二人で話していました。先生方も、病院でお会いしているときとなんとなく違い、とてもなつかしく感じたしだいです。

今回、朋友の編集を行ない、アドバイスを下された先生方、ころよく原稿に協力下さった方々大変感謝しております。今回は二十周年前の企画ですが、看護学校の近況報告、いかがでしたか？

卒業生の皆様、ぜひ、これは皆さんに知らせたいことなどありましたら、お手紙を下さいませ。

十二期生 三浦清美

(同窓会事務局)

〒166 東京都杉並区和田一三十四  
校成看護専門学校同窓会事務局